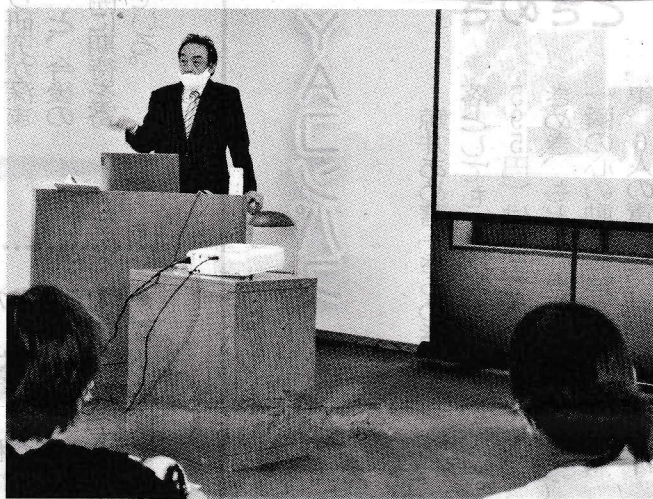


令和4年(2022年)8月23日(火曜日)

島根日日新聞

講演する稲葉さん 18日、雲南市加茂町の加茂遊学ファーム農特産物直売場2階ホール



野菜などの栽培にミネラルを

山梨の稲葉さん、講演

加茂遊学ファーム

五大栄養素の一つ、ミネラルについて学ぶ健康講座が、雲南市加茂町の加茂遊学ファーム(土江暁一代表取締役)であり、農業に関心を持つ人や農業従事者など17人が参加し

た。子どもの学習支援事業を手掛ける「みかた-NEET」(同市大東町、佐佐木留美子代表)主催、加茂町内の生産者らでつくる「学校給食出荷協議会」などが共催。

講師は山梨県で果樹栽培などを手掛けるミネラル農法アドバイザー稲葉裕一さん(53)。山梨市の標高700以上の土地で無肥料、無農薬でミネラルのみ施してスモモ、

モモを中心に栽培。糖度の高い果実が収穫でき、連作障害が起きないという。実践しながら

ら、ミネラル農法の良さを各地で講演活動をしている。講座ではミネラル(無機質)を補う食生活対策や、ミネラルを使った野菜などの栽培方法が解説された。稲葉さんがミネラルについて知ったのは9年前ほど前。天然岩石から抽出した農業用ミネラル液は鳥取県などで製造されている。稲葉さんは、栽培にミネラルの活用を説き、稲作で収穫量がアップした、

サクランボの糖度が上がったといった例を紹介。化学肥料や農薬との併用もできて安定的に作物が育つほか、ミネラルの力で土壌菌のバランスを整えることができる」と、環境問題に対してもミネラルの良さを伝える活動をしていると語った。出雲市から参加した女性(45)は「6年前から無農薬で畑をしていて、興味があります」と話していた。